

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 どうぶつ園のじゅうい 📖 115~126

●動物園の獣医の仕事について書かれた説明文です。

●時間の順序に注意して、獣医の仕事やその工夫を読み取ります。

【一日の仕事】

- 朝、動物園の中を見回る。
- 昼前に、日本猿に薬を飲ませた。
- 動物園を出る前に、おふろに入る。
- 【工夫していること】
- 声も覚えてもらうよう、「おはよう」と言う。
- 薬の粉をはちみつに混ぜて飲ませた。
- 病気のもとを外に持ち出さない。

いろんな工夫をしているんだね。



1年 うみの かくれんぼ 📖 114~119

●海の中で「かくれんぼ」をしている生き物について書かれた説明文です。

●何が、どこに、どのように隠れるのかを、段落ごとに読み取ります。

●はまぐりが、すなのなかにかくれています。

●たこが、うみのそこにかくれています。

●もくずしよいが、いわのちかくにかくれています。

みんな、どうやって隠れているのかな。さし絵と文章を比べながら読もう。



4年 パンフレットを読もう 📖 120~123

●身の回りにあるパンフレットについて、作られた目的や、どのような工夫があるかを学習します。

【パンフレット】

- 場所や物などについて説明したり、良さを知らせたりするためのもの。
- 持ち運びに便利で、絵や写真と短い文章で作られている。
- 「中央清掃工場」のパンフレットを見て、作り手の意図を話し合います。

文字の大きさや位置、写真や絵にどんな工夫があるか、考えてみよう。



3年 ポスターを読もう 📖 118~121

●ポスターを見るだけでなく、情報を読み取ることを学びます。

- 1 ポスターの絵や写真の使い方、キャッチコピーの果たす役割などについて考える。
- 2 二枚のポスターを見比べる。

両者に共通する要素・違う要素・示し方や工夫している点を確かめる。

←ポスターを作る目的や伝えたい相手を考えて、話し合う。

だれに何を伝えたいかでポスターの内容や表現が変わるのね。



6年 やまなし 📖 103~114

●かのに親子を中心とした、谷川の底の情景を描いた物語です。

●五月と十二月の情景を対比させます。

●日の光が届く明るい水底で、クラムボンと魚が楽しく動き回る。

五月

●かわせみの出現で、谷川の様子が変わる。

谷川の底って、なんてきれいなんだろう。

十二月

●月の光が届く冬の水底で、かのにの兄弟があわのはき比べをする。

●やまなしの落下により、谷川の様子が平和になる。



●音の感じで、様子を表す言葉やたとえの表現の情景を想像します。

5年 たずねびと 📖 105~122

●何十年も前に亡くなったと思われる少女アヤと、その消息を尋ねる綾の物語です。

●綾は、駅の構内で、『原爆供養塔納骨名簿』のポスターの中に、自分と同じ年齢・名前の「アヤ」を見つけた。それは、遺族や知人からの情報を求めるポスターだった。

●綾は、兄とともに広島に行き、平和記念資料館から人づてに、アヤについて尋ねていく。

綾は、どうして何十年もだれもアヤを捜しに来ないのか、知りたかったんじゃないかな。

